渡世勘辯

世間胸算用

二

特
へ遠13
2.002
2

世間胸算用　二之巻

第一　帳場の鬼は見て来た様な嘘

目録

女房狂ひに命は捨て濡れ事の外に金銀の損

[illegible]の門松はやしきを焼て[illegible]が[illegible]業

濡れ事に栗拾ひする欲人はなごまり

第二　色里の投節死ざ止まの子長屋無理

合力の紙紙ねくべて言いをの思

物もてこ[illegible]をぬ分結家抑つこみの中

をしたさて狂い分上吹い数風の神

第三　ひ[illegible]方と[illegible]ら分る浮猫猫い商[illegible]

[illegible]子の土産よ分てゆる賞茶で延ちて紙

はは[illegible]の小方物や商い下よの[illegible]

い三[illegible]線[illegible]抑ら[illegible]む宿ごろ[illegible]

一　拙拙て内[illegible]て穴れ的金の換銀

古人の[illegible]の[illegible]変[illegible]人と[illegible]

天[illegible]度三七銀又死[illegible]

内[illegible]て[illegible]書[illegible]十[illegible]

金[illegible]銀[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

べき事かりと言葉を尊敬して上方へ登りけるとぞ十九歳又百貫の書人を
て根切の間に宮むりあへ沼ノ家臣後藤兵衛も人を
格義家をまくして宿きれの方へ新見氏の位牌あて他の多後を
いろめしても会合のあり仏さぞれ絹米の買多人仏御仏まを私小ロ右家と
買を為て下さるべしと仕上又百貫三百貫場所へと旅を祭をうさのぞをなれば
後家もむと買を買いて後ふりを世けつ家のな家かく大仕合なれば
ア此者も家を仕舞大勢の多代方も外のまろ〳〵ものつ後ひて潜後
まうて今を此者を名別絹をあり小者小家なるとい暗葉をのこ情葉
の中ひて拾小物べを代をあつけ小者小のこ〳〵を今一変えのそのやか
を家をして新見氏の家臣を会をとしもを人と一なか家ひ出と変か葉して
潮〳〵名真世方へ会をとの沢世祭をけまを志と廊〳〵仏ひもせう拾
先生の為小者小なを祭小〳〵うめ入け代後ひな家をいの家氏

三七の不祭代絹物小本絹物小を世ろ人を代家ひ〳〵とあ〳〵方半小
つろ入新方ひを世ろ〳〵十三家ノ今の家氏のを三方を氏庶を氏ところ七小
雑ろ〳〵色布を小対ひを後生絹の潮織本浅絹の卜稽を世いひを世ろ
を後を髪付を世ろ〳〵と後代国ろ〳〵世ろ三方へ要ろ氏ろ氏を代家
ろ代代を氏ひを三七ノ俳を人を代家ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
ひ〳〵を世ろ布を小ひを後ろ〳〵を氏ひを世ろ代代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
後ろ〳〵と世ろ氏後代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
ひ〳〵ひを世ろ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
ひ代ノ仕新世一切の絹新世世後代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
代代を後代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
を氏を世ろ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代
後代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代ひ〳〵ひ代

浅川

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二　良墨の投者死ざ止まい子息が悪性

郷の金九郎の話。今の世界の富貴の者と雖も、貧困の者と
も乏しきわり。一切の人目を驚せぬ程の限と称ひ、身を滅亡を例に報と云ふ。
実法度十三年。五人の方へ出家し、時に五歳の若り、出家九人も
家を出りの者て昭智上もいつまて十三年。歌こうなれ流ものの月日
とつまり。業を九郎と云。者の根面とハ一刻づつ、ちぐ〳〵重たき十五貫
しうの地と。此所方へ根面へ九郎と付き、年中一刻づつ中ゆてゆこと。大分
銀と称一刻九者の主と成て。一旦分限者と言ふ。中九郎と。是の
大願ゆ。此九金の掟ゆ。もろ〳〵と仕事ゆ。危難ゆ。
て九郎と。関係ハ昭教方ゆ。
成て十三年が拾ゆ。者家嫡ゆ。者ゆ。

高ハ沼之二のゆ。此方へ引つけゆ。此時ゆ。
紙布銀の代ゆ。板ゆ。所く紙ゆ。
ゆ。此者ゆ。代ゆ。
て。落者の者へ。ゆ。十三年が元銀ゆ。
ひ。ゆ。十三年又子ゆ。九郎者へ。
金ゆ。ゆ。九郎ゆ。
ゆ。此者ゆ。九郎ゆ。
秘者ゆ。者ゆ。
て。ゆ。九郎ゆ。
ゆ。者ゆ。
ゆ。者ゆ。
ゆ。者ゆ。
ゆ。者ゆ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女のこちらひくさが国果のなおがくらゐまれた合ぬあわこなさハ孫なれ七元ぎや
ぬいいなそちや悔あれハきうえくさ拾る方弥彦たまくやくうの首身拾ゝ越ぬ
めぐこなるとけ四方拾ぬのけこつかあ拾ぬ家対ときこ男ひつくゝい家対ゝこ買いの
年こなれまのこそこながこなまあゝとのくひこいこをふをふ汁ゝ合ふ拾なこれ作なぬ
ほどこのこ合ハ乳ひくらのそけ義ぬもあ嫁がなて死れを受扇ほうこ。死
又弁天流弁慶ぬ三百文十あ人金ぬ五百文十あ人金ぬ五百文十あ人金ぬ五

ぶりぶりヤ
ヲヲイト
なんかの酒
こそうで
今日ハ
ざろ
こそうで
稼ひのほと
雪ヤドヤ

こそうで
ざざ
くんろう
いそて
うそうま
ゆれハ
しうしの
あれこ
ちかこ
今日ハの
少やそうどや
ちて
やしれ

三　昭言方と稽う付の澤瑞瑞と高の屋敷

書餅のりとめ鍛奥わり。重蒙の家中に死まわりとなるべきかと
ゆ仕云もうくそそ妻。時くなづけもそそ神ごろ月とうけてさて世ゆ
づうう長とうそそ月とうまじ働くめやうとさく者とまを世わ長代出。
家とつけ後ろぐろゆうゆ世くだ。ゆ働ゆるのぼと首
奥発ゆき移ゆつて。三百八十弁ゆ上獅ゆ代接ぐやつて れゆ世ゆまとうまでめの
移と使うた。ださ人のぐつ月代のぐと孔子ゆうて。箱も武体と為わけつ。世ゆ
位で夏ゆも拝ぐ代ゆ。方金丹金世でゆふとと上ぬ。ゆ章代ゆ。第二代と紹と。
七十巻ゆと代とわ。そ後ゆ孫ゆ代ゆ武十数対も世ぐ。ゆ世ゆ。ゆ縮縮の
巻ゆ羽織。三千ゆ代ゆ海巻と紹世ゆ。ゆ代ゆ。
切でゆと寄とゆ。ゆも金も所人ゆうゆ関係ゆ巻ゆ具ゆ。ゆうゆ代ゆ

夕の条とかくさを長ゆ月紙と気ゆ宿ゆ。色祇ゆ金月ゆと二年ゆ男子
二人ゆ実ゆ代ゆ。ゆ人ゆ。ゆ世ゆ育ゆ十七十ゆ。ゆ代ゆ。ゆ祇ゆ。ゆ町ゆ。ゆ
ゆゆゆゆ武士ゆ祇ゆ。ゆと細ゆ事ゆ。ゆ色ゆ寅ゆ。ゆ青月ゆ。ゆ。ゆ
祇十要月ゆ。ゆ要月ゆ。ゆ月ゆ。ゆ去産祇ゆ。ゆ条ゆ色ゆ衣ゆ。ゆ。ゆ。ゆ
ゆ月ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ才ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

なのなどの法華経を五、六、一巻宛男おんなちがひもあり。なかなかいとおしがりなん人
あだ浮あハ比もせずして、亭主の妻ちゝ母俗ちゝ母間敷なりどこまづけ面をして酒こ
けらゝ家のかゝる地獄のうゐ者ハ男さへ分りまだ。まれれ者ハ夜ぎさへ分れん強
ぜんぜんしてなくく殺生もあると思てまぐてくれみ看護おい者ハ婦人なんなんなく
さいいハるなく。起ろくく寝ろくと浮世ばつくもせず。拾ハ寺ハ仏のれ
法ハ殊勝なまきやとおろく仏法の事のこのいとなん。毎日ものを知
とろげてはさ市と呼ばれ。ハ集ハ呼こまれ。拾ハ寺ハ嵩ハ物数寄紙
など。女中ハ新ハれまをまさ。ハくくなれ。ハ見ハ出ばかも安ぞ力をまゆハ
ばとまろそとさろく。時。私ハ生ハ二ついとまぞぬが強ひて後者れ名さ人なぐませ
ぬ。ぬ寺の法義ハ。ちゝ事ハ言されませ。女中ぐれ法をさ出てばを法法。
女ハ子面似并問公ハ教ハ。仏ハ法をれ。ちぐれ。ハ法ハ
なさ出て教ハ自粉ハ。ハ知ん。ハ面ばさつも同ぐ事ちまどぐ。ハ長ハれ多ハ

ちて男ちゝ浮世ハ絶いとあまりでぐちまちれ仏ちれ教ちれ仏ちれ
女中ハ分ハ出ハ扇ハ家ハ。ハ知ハ。ハ出ハ。ハ知ハ。ハ出ハ。ハ知ハ。ハ出

人みな[illegible]ひ涙ながらに[illegible]で今[illegible]
[illegible]の人[illegible]とどこでも源[illegible]
[illegible]て[illegible]八寺[illegible]で[illegible]今[illegible]
親[illegible]仕合[illegible]
[illegible]
今[illegible]て金[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]